

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	スーパー（店長）	・野菜の相場が上昇しており、売上増加の追い風になる。
		乗用車販売店（従業員）	・新型車効果により、数か月は好調を維持できる。中越沖地震による工場ストップの影響が懸念されたが、自動車の生産は順調に回復しており、思ったほどの生産ダウンは避けられた。メーカーも国内販売のてこ入れに本腰を入れ始めており、各県の販売も期待できる。
		通信会社（管理担当）	・新料金サービス等の発表により、今後客の動向が活性化する。また、携帯電話業界全体においても同様の動きがあることから、景気がやや上向きになる。
		ゴルフ場（従業員） 設計事務所（所長）	・順調に予約が入っている。 ・工場や倉庫など、業務用施設の計画が増えている。
	変わらない	商店街（代表者）	・多少来街者が増えているが、景気が良くなるほどのことはない。
		商店街（代表者）	・夏物バーゲンがかなり厳しい。2～3か月後には秋物の販売も始まるが、なかなか回復しない。
		百貨店（営業担当）	・クリアランスでは、まとめ買いは無く目的商品のみ購入していた。中元商戦においても、法人は下げ止まるかと思われたが予想以上に件数が減少し苦戦した。宝飾品、美術品なども動きが鈍い。
		百貨店（売場担当）	・売上は前年を若干下回ることが多く、今後も消費が回復する材料はなく、期待できない。
		スーパー（店長） スーパー（企画担当）	・客に、所得が増える様子がなく、食費等は節約する。 ・原油高騰による商品原価の上昇が、店頭価格にも影響し始めている。
		衣料品専門店（経営者）	・夏物セールに勢いがいない。秋物の早期立ち上げが予想されるが、年々必要なものしか買わない傾向が強くなってきており、残暑が長引くようだとあまり期待が持てない。
		家電量販店（営業担当） 乗用車販売店（営業担当）	・1点買いの客が増え、それ以上勧めることが難しくなっている。買い控えも進んでおり、プラス要因は少ない。 ・軽自動車は非常に良いという見方をされていたが、この1～6月、連続して前年割れである。また、7月も大きく前年割れの見込みであり、良くなるとは思えない。
		住関連専門店（経営者） 一般レストラン（経営者）	・販売量が予想より伸びない。 ・客数が予想よりかなり少なかった。
	やや悪くなる	スーパー（統括担当）	・定率減税の廃止が大きい。サラリーマンの手取りが減ったということが大きくマイナスに働く。
		衣料品専門店（経営者）	・台風の後の動きをみる限り、もっと盛り上がってくるのかと期待していたが、なかなかそういう兆しがみえず、今後も、やや弱い感じが続く。
		乗用車販売店（従業員） 都市型ホテル（経営者）	・毎月のようにガソリン価格が上昇し、小型車クラスのユーザーには影響が非常に大きい。 ・予約状況が今までと比べて悪い。また、建設会社の破産等が続いているため、全体的に沈滞ムードが漂っている。
悪くなる	衣料品専門店（経営者） 美容室（経営者）	・市民税の増税による家計の圧迫や年金問題など、先行きの不安感により、間違いなく買い控えが見られる。 ・増税等家計に厳しい状態が続いており、消費意欲が弱い。	
	企業 動向 関連	良くなる	-
やや良くなる		繊維工業（経営者）	・小売店でも、品ぞろえの良い店舗は活況である。
		電気機械器具製造業（経営者）	・円安により企業業績は好調で、個人消費も拡大する。
		広告代理店（経営者）	・首都圏中心であったフリーペーパーの受注が地方にも広がってきている。
変わらない		一般機械器具製造業（経理担当）	・一部の地方ではクレーン稼働の一服感が見られるものの、関西地区では駅前開発や弱電メーカーの大型設備投資が話題にのぼるなど、都市圏を中心に順調な稼働が続く。
	一般機械器具製造業（経理担当）	・民間のユーザーの動きが依然として悪い。官公庁の受注にも力を入れる必要がある。以前にもまして厳しさが増してくる。	
	輸送業（支店長）	・8月も燃料が値上げされるため、現状で推移する。	

	通信業（営業担当）	・営業先の商店で、男性用衣料品の売上が伸びたとの声が聞こえない。また、目玉商品、バーゲンの値札が客の店内に目立っている。	
	金融業（融資担当）	・公共工事の減少で、県内の主要産業である建設土木業は引き続き厳しい状況が続いている。また、小売・卸も、売上・利益共に減少傾向にある。	
	不動産業（経営者）	・一般消費者の、土地や家に対する需要は低迷している。ただ、一部の企業に設備投資意欲は若干ある。全般的には低迷している。	
	広告代理店（経営者）	・新規客獲得による広告増加と既存客の広告費減少で、売上及び粗利益は横ばいで、今後の予測も変わらない。	
	公認会計士	・各企業の経営者との話の中では、見通しが明るいと言え、経営者はほとんどおらず、まだまだこのような景気が続くのではないかと不安を持っている。また将来、借入金金利が上昇するのではないかと恐れている経営者も多い。	
	やや悪くなる	電気機械器具製造業（経営者） 輸送業（役員） 通信業（支店長）	・引き合いが以前の半分ぐらいに減った。問い合わせや見積が減ってきている。 ・企業業績の伸びが鈍化傾向にあり、客からの物流合理化提案、運賃値下げ要請が増加している。 ・夏商戦と冬商戦の間、及び新端末の発売の端境期ということで、需要が減少する。
	悪くなる	-	-
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	求人情報誌製作会社（編集者） 民間職業紹介機関（所長）	・即戦力採用の需要は昨年並み、新卒採用の需要は昨年より高まる予測である。 ・夏季賞与が昨年と比べて増加している企業が多く、消費意欲も多少高まっている。こうした傾向が、様々な業種で見られる。
	変わらない	職業安定所（職員） 職業安定所（職員） 職業安定所（職員）	・新規求人数はやや増加気味であるものの、原油の高騰や株価の下落など不安材料も多く、全体ではあまり変わらない。 ・求人企業の多くは小売やサービス業であるが、個人消費が落ち込んでおり、回復する兆しが無い。 ・新規求人数は昨年ほど大口求人がなかったため、前年同月と比べて2けたの減少となっている。
	やや悪くなる		
	悪くなる	新聞社 [求人広告]（担当者）	・相変わらず好調なのは県外からの進出企業と、葬儀社、金融のみで、明るい兆しは何もない。